

2018年市民社会川柳ベスト10

NPO法人市民社会研究所のホームページ上で更新している「市民社会川柳」の中から、会員の投票により2018年のベスト10を選びました。(番号は、ホームページ上の過去の作品番号)

第1位 「責任は私にある」が何もせず 作 松井真理子 (173)

*「丁寧に説明」「真摯に」何もせず(松井)が2位でしたがこちらに一本化します。

第2位 高齢者の生きる手本のボランティア 作 松井真理子 (149)

山口県の2歳の男児を20分で発見したスーパーボランティア尾畠さん78歳。

第3位 セクハラ研修まずは政府から 作 松井真理子 (75)

民間では企業も市民も人権研修をしっかりとやっているのに、政府だけ昭和の時代。

第4位 官僚も所詮はトカゲの尻尾なり 作 坂東行和 (47)

キャリアだ、エリートだと持て囃やされても政界の巨悪から見れば「トカゲの尻尾」要員。

第5位 会見の学生だけがさすがし 作 吉武三和子 (103)

日大アメフト部の悪質タックル問題。タックルさせられた学生の会見だけが率直でした。

第6位 「膿を出す」「出し切る」という発生源 作 松井真理子 (77)

どうして膿が出ているのか、どうやって出し切るのか、説明がほしいです。

第7位 宴会を「集会」という業界語 作 坂東行和 (137)

集中豪雨の被害が懸念されている時に行われた「赤坂自民亭」は「集会」だったと弁明。

第8位 アメリカにやまだ救いあり暴露本 作 坂東行和 (166)

トランプ政権の内幕を描いた『Fear』が9月発売即日のミリオン・セラーだそうです。

第9位 君たちはどう生きるのか新潮社 作 坂東行和 (167)

杉田水脈氏のLGBTヘイト論文とその擁護記事で『新潮45』は休刊へ。リベラルな吉野源三郎著『君たちはどう生きるか』は、軍国主義時代に新潮社から発刊されました。

第10位 女子減点男社会を守るため 作 松井真理子 (144)

東京医大が女子だけ入試の点数を一律減点していたことが発覚。その後他大学でも。

(次点：すべて10位と1点差で同点)

第11位 長官を模範にしたい納税者 (作 坂東行和 44)

公用車も時々入る個室ヨガ (作 吉武三和子 83)

広島へアベ氏コピペを読みに行く (作 坂東行和 145)

豚コレラ罪もないのに処刑され (作 吉武三和子 161)

財務省「税金で学んだ」人だらけ (作 坂東行和 192)